

以下、本文-----

単施設研究用

【情報公開文書】

頭頸部 VMAT 治療計画における照射野開口形状コントローラー機能の 基礎的検討

1. 研究の対象

2022 年 1 月～2023 年 12 月までの頭頸部強度変調放射線治療を施行した方

2. 研究目的・方法

2024 年 1 月に当院の放射線治療計画装置バージョンアップに伴い、新機能として Aperture Shape Controller(以下、ASC)が追加されました。ASC は照射野形成をするマルチリーフコリメーター(以下、MLC)の開口サイズを大きくし、動きの複雑さを低減する目的で使用されます。開口サイズや形状のコントロールは、QA の失敗や出力される線量の不確かさ、MLC のモデリングやポジショニングによる依存性や MU を減らすことに寄与することが期待されます。本研究では、ASC の有無による治療計画においての線量分布、MU 値を評価し、ASC の有用性について検討することを目的とします。

方法としては、頭頸部強度変調放射線治療を施行した患者のうち 30 症例を対象とし、治療計画装置上で ASC を用いない治療計画に対して、ASC を用いた際の治療計画を比較します。また、ASC は Verylow, low, moderate, high, very high と 5 段階に重みづけが変更可能であり、それぞれに対して線量分布、MU 値の変化を後方視的におこなうものとする。

研究期間としては、研究実施許可後から 2025 年 3 月 31 日とします。

利用を開始する予定日：2024 年 4 月 25 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

頭頸部強度変調放射線治療における放射線治療計画装置で計算された線量分布、カルテ番号、CT 画像 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

秋田大学医学部附属病院 中央放射線部

Tel：018-834-1111(病院代表) 内線：2468

研究責任者：

秋田大学医学部附属病院 中央放射線部 柳本 一貴

-----以上